

告別！村尾大兄！

2020-8-1 野口幹夫

今年に入って3度目の電話を7月25日にしたのだった。昨年暮れから連絡が途絶えたときに電話をしたら「暮れに入院したが、退院したところだ」と言われて驚いた。春過ぎてまた入院されたようだった。その間メールの音信が途絶えていたので、ZOOMの誘いもしたくて、電話したのだった。元気そうな声だったが、PCが2階にあるので行けないのだと聞き、心不全がちょっと深刻だなと案じた。しかし愛媛も東温市は遠かった。会いに行けなかった。

7/28 KOZOOM サロン 28 の第1回が終わって、いろいろのメールの反応を整理していた頃だった。7/30 昼 村尾紀久子さんという見慣れない名前のメールが入った時、不思議な予感がして開いたら驚きのメールだった。

「初めまして。

五期生の村尾行一の娘の村尾紀久子(きくこ)と申します。

連絡先になかなかたどり着けずご連絡遅くなり恐縮です。

父、村尾 行一が2020年07月28日10:19に自宅で急逝いたしました。

もともと心不全を患って療養中でした。

30分くらいの出来事で、本人は母の目の前で静かに息を引き取りとても安らかな顔をしております。

昨日7月29日にお通夜をいたしました。

本日7月30日13時より家族のみのお別れ会をして、その後斎場に

参ります。」

それからのことは高津 5 期の皆様はご存じの通りです。追悼のメッセージも次々にいただき HP 惜別の欄を増設して掲載しました。ここにいった伊藤公博氏の文は今回書いてくれたものではありません。なんと 2017 年に書かれたものです。出だしなどはともかくも、中味は村尾大兄に対する感謝の言葉は、我々を代表して村尾大兄の霊前につげるにふさわしいものだと思います、伊藤氏に電話で了解を取って HP の惜別欄に再度掲載したものです。村尾大兄という敬称は我々がメールで呼びかける愛称です。

村尾大兄は高津 HP にもよく書をくれました。この文の終わりにつけた表は、その 16 通のすべてです。彼は超一流の学者でしたから、著作は仕事でした。普段はその仕事で忙しかったはずで、高津 HP への寄稿は、その合間を見ての気晴らしだったと思います。投稿はちらほらでした。

その彼が 2009 年にリレーエッセイで、(前の筆者からバトンを受けて書かなければならない) 彼の番が来たときに書いてくれた「緑と水の ある、なしー近代都市と前近代都市を分けるものー」でした。これは、他のリレーエッセイと比べてわかりますが、飛びぬけてレベルの高い一文でした。専門の森林学の蘊蓄を傾けて、我々のために書いてくれたものでした。

そのような彼が一転した時代を迎えます。2014 年に高津の恩師「山森先生と私」を書かれて以来。堰を切って高津回帰が始まります。この山森先生の一文は彼がどんな高津時代を過ごしたのかを教えてください。また山岳部の思い出や記念祭にでたことなどの懐かしのシーンをよみがえらせます。彼も楽しんだのではないですか。

そしてついに 2017 年には「村尾行一の徒然草 『森林業の紹介』」で交遊の
広場に登場してくれました。その喜びの反応を書いたのが伊藤公博氏の「村尾
行一大兄のこと」の一文です。これを今回改めて発見して、これはそのまま眠ら
せておくのはもったいないと思い、惜別欄に再録したのでした。

それからうれしいことに 2018 年から昨年 2019-11-14、入院される直前
まで、7 件も立て続けに書いてくれたのです。多くは私 野口の発表論文に寄
せてくれたコメントでした。熱心に読んでくれ 暖かく評価してくれました、
私がどれほど励まされたことか。私野口が書いて発表しようと思うテーマは。
いつも世間の常識とは違うことばかりなのですが、村尾大兄はそれを暖かく受
け入れ、それにかかわる周辺の知識を補ってくれるものでした。

いま私が注目している次なる大テーマは、地球と人間を崩壊させるところま
で行きついた資本主義が、新自由主義グローバリズムとして行き詰まり、この
先に来るべきよみがえりの地球人間システムは何であるのかです。これは何と
しても村尾大兄との議論の中で追及したかったのです。

夢の中に出てきて意見をください。村尾大兄よ！

最後に般若心経の祈りの言葉をささげて終わります。

ぎゃていぎゃてい はらぎゃてい はらそうぎゃてい ほじそわか
羯諦 羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶

「往ける者よ、往ける者よ、彼岸に往ける者よ、
彼岸にまったく往ける者よ、幸あれ」

村尾行一氏の高津 5 期 HP 投稿掲載文一覧

< 交遊の広場掲載文 > 12

- 2019-11-14 村尾行一 野口大兄『日本原記』に寄せて
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoNihongenkiron.pdf>
- 2019-11-12 村尾行一 能狂言と南北朝内乱 野口能学との対話
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoNoh.html>
- 2019-10-23 村尾行一 縄文文化と森林利用
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoJF.html>
- 2019-7-30 村尾行一 高村と私
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoTakamura.html>
- 2019-5-17 村尾行一 野口史学の下部構造
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoNoguchiShigakuron.pdf>
- 2018-4-6 村尾行一 野口兄の『精神と「気」そして「祈り」』に誘発されて
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoNoguP.html>
- 2018-3-31 村尾行一 ドイツの森の物語
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoGF.html>
- 2017-10-28 村尾行一 村尾行一の徒然草 『森林業の紹介』
<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraoSinringyo.html>
- 2004-09-03 村尾 行一 天王寺中学同期会
http://kozu5.my.coocan.jp/KozuHomePage4/KozuHomePage1/public_html/hiroba-05/04.09.03murao.html
- 2003-12-07 村尾 行一 『外から見た創価学会』
http://kozu5.my.coocan.jp/KozuHomePage4/KozuHomePage1/public_html/hiroba-04/03.12.07murao.html

< リレーエッセイ >

- 2009-11-03 村尾 行一 緑と水のある、なし
一近代都市と前近代都市を分けるもの一
http://kozu5.my.coocan.jp/KozuHomePage4/KozuHomePage3/public_html/ril-ei-01.html/muraoessei.pdf

< クラス活動と記念祭 >

- 2017-7-23 村尾行一 3B 仮装行列追想
<http://kozu5.my.coocan.jp/6HP/MuraoFest.html>

<クラブ活動>

2016.11.15 山岳部 村尾行一 高津山荘反省録

<http://kozu5.my.coocan.jp/kozusansoumuraio.html>

<先生方の思い出>

2014-4-6 村尾行一 山森先生と私

<http://kozu5.my.coocan.jp/yamamorimuraio.html>

2014-4-25 村尾行一 山森先生と大高寮歌

<http://kozu5.my.coocan.jp/yamamorisongmuraio.html>

<惜別>

2019-7-31 高村奉樹氏 村尾行一 高村と私

<http://kozu5.my.coocan.jp/MuraioTakamura.html>

計 16 文